

住みたい 住み続けたいまち

# 広報ひこね



HIKONE



えびら川  
江面川に映る八坂町のまち並み

2003  
6/15

はーとふるメッセージ2002 第5回 ～わたしと人権～ 特選作品紹介	2
～10月1日からプラスチックごみの資源化がスタート～ 「ごみ」じゃなくなる!? 容器包装プラスチック	3
彦根市防災訓練	4
ひこね文化フェスタ2003	7
回答は7月5日までに 新市名称アンケート	12

# はーとふるメッセーヂ

特選作品紹介  
第 5 回

わたしと人権

## 作文・小学生の部

学年は、応募時のものです。



植谷 奏里 さん  
(金城小学校 4年)

### 大切な命

9月の最後の日曜日にお父さんのおばあちゃん、わたしとついでにおばあちゃんのお見まいに行きました。

ひいおばあちゃんは、のうそうそくといって頭の中の血管が切れてしまう病気で入院してから、体の右側のほとんどがまひしてしまっていて、動かないそうです。のどの半分もまひしているの食べる事ができません。だから点滴で栄養をと

とっていました。ひいおばあちゃん「死んでもいいからこはんが食べたい。」とか「早く家へ帰りたい。」と何度もくり返し話していました。とてもかわいそうな気持ちになりました。

何とかして元の元気な体にもどしてあげたいと思いました。そして、わたしたちに「よく来てくれたな。うれしい。」と何度も何度も「こりしなから言ってくれました。ひいおばあちゃん、病院に一人でいて、とてもさみしいのだということがよくわかりました。

それからわたしは、ひいおばあちゃんが早くこはんが食べられるようになって家へ帰れるように毎日、ひいおばあちゃんが入院している病院の方に向かってお祈りしてからねるようになっていました。そして、1か月くらいたった11月の初めころ、お母さんからひいおばあちゃんの点てきがとれて、少しだけこはんが食べられるようになって

たと聞ききました。わたしは、思わず「本当に」と聞きかえしたくらいびびくりしました。ひいおばあちゃんは、のども右側がまひしているから、食べた物のどに付まらせたり、気管の方へ食べた物がいつてしまつと死んでしまつと聞いていたので信じられませんでした。でもわたしの毎はんのお祈りがとどいたのかととてもうれしくなつて、早くひいおばあちゃんの顔が見たくてたまらなくなりました。そして、この前の日曜日、2

### 標語・一般の部

#### 出かける前に

#### 最後の持ち物 思いやり



西 一博 さん  
(株永昌堂印刷)

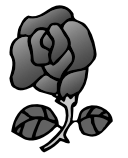
度目のお見まいに行くことができませんでした。あい変わらず、ひいおばあちゃんは「よく来てくれたな。奏里は、いい子やな。」と同じことを何度も話していました。わたしもひいおばあちゃんの手をにぎりながら、「早くよくなつてね。また来るね。」と何度もくり返して言いました。

ひいおばあちゃんは、今94歳です。体の右側は不自由ですが、頭もしっかりしているし顔色もツツヤしていて、ベッドにすつとねてるのが不思議なくらいでした。きつとひいおばあちゃん「もつと生きたい、家へ帰りたい。」という気持ちがそう見えさせてくるのだと思います。

わたしは、ひいおばあちゃんの入院がきっかけで、生きていくってすごいことだなと感じる

#### 選評

ひいおばあちゃんの病気の快復を願って、毎晩お祈りしたり、見舞いに行つて励ましたりする作者の姿には、曾祖母への温かな気持ちと深い愛情が溢れています。94歳という曾祖母がもつと元気になりたいという強い願いをもち、病氣と懸命に闘っているのが作者の文面から伝わってきます。命の尊さや生きるこのすばらしさを素直に表現した作品です。



# ～10月1日からプラスチックごみの資源化がスタート～ 「ごみ」じゃなくなる!? 容器包装 プラスチック

現在収集している「プラスチックごみ」の中には、まだ利用できるものも含まれています。市では、10月1日からこれらを手作業で分別し、資源化することを始めます。環境にやさしい社会を目指して、皆様のご協力をお願いします。

### 主な資源化できるプラスチックごみ

プラスチック容器類	卵、豆腐、みそ、菓子のケースなど
ラップ類	キャラメル、ノート、肉、魚等の包装フィルムなど
レジ袋類	スーパーマーケット、コンビニなどの袋
ポリ袋類	菓子、米、インスタントラーメンの袋など
発泡スチロール容器類	カップめん等の容器、肉、魚、総菜のトレーなど
ボトル類	食用油、ソース、シャンプーのボトルなど
カップ類	プリン、アイスクリーム、ヨーグルトのカップなど
チューブ類	ケチャップ、マヨネーズ、歯磨き粉、靴墨のチューブなど
その他	ペットボトルのふた、チューブや洗剤のキャップなど

## 第10回 正しくごみを出して 広げようリサイクルの輪!

「ごみ」として市が回収するものの中には、もう一度資源として利用できるものが含まれています。こうしたものうち、市ではこれまでも「缶・金属類」「びん類」「ペットボトル」について資源化をおこなっています。これに加えて、今回新たにプラスチックごみを資源化することによりリサイクルがいつそう充実されます。

### プラスチックごみの資源化とは?

プラスチックごみの中でも資源化の対象となるのは、「容器包装プラスチック」と呼ばれるもので、これらのプラスチックには図のような「プラマーク」がついています。資源化できる主なプラスチック

クの例は、左の表のとおりです。市ではこれらのプラスチックごみについて、資源化できるものとそうでないものとに手作業で分別します。さらに運搬しやすいように圧縮梱包し、リサイクルする事業者に引き渡します。



### 「ごみ」の出し方は変わるの?

プラスチックごみの出し方は今までと変わりません。決められた日に、必ずプラスチックごみ指定専用袋に入れて出してください。どうやって出すの? 中身や汚れを取り除いて出してください。プラスチックの容器に

中身が残っていたり、汚れていたりと、資源化することができません。中身は使い切り、汚れは軽く拭き取ってから出してください。

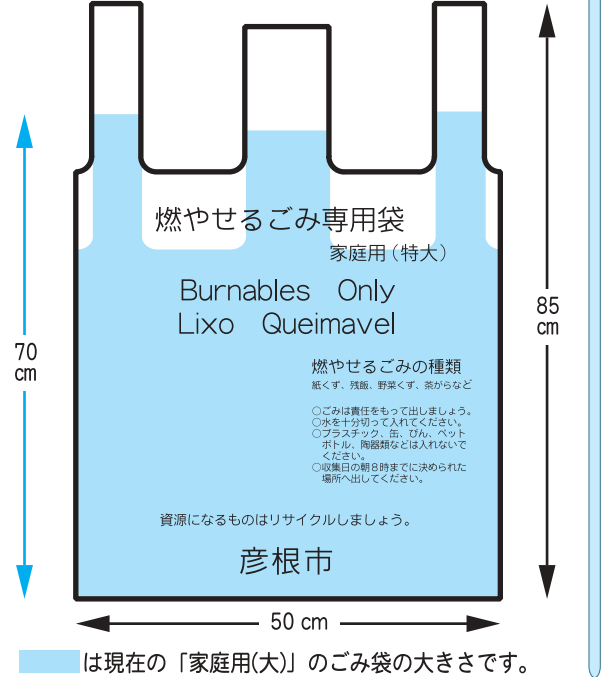
「ごみ」を正しく分別しましょう  
包装容器プラスチックをはじ

め、「ごみ」を資源としてリサイクルするには、市民の皆さんが「ごみ」を正しく分別することから始まります。正しく「ごみ」を出してリサイクルの輪を広げましょう。

問い合わせ先 圃清掃センター  
施設課 ☎ 3879番 FAX 7787番

### 販売開始! 家庭用燃やせるごみ指定袋(特大)

ごみを正しく分別し、ごみを減らすこととリサイクルを推進するため、昨年10月からごみ指定袋を新しくしました。多くの市民の皆さんから強い要望のあった「家庭用燃やせるごみ指定袋」の特大袋を次のとおり取扱販売店で販売を始めます。  
袋の大きさ 幅50cm×高さ85cm(取手部分を含む)  
販売開始時期 6月下旬ごろ  
販売場所 取扱販売店  
販売価格 110円/10枚入(税別)  
問い合わせ先 圃清掃センター 管理課 ☎ 22-2734、FAX24-7787



は現在の「家庭用(大)」のごみ袋の大きさです。

# 彦根市防災訓練

日時 7月6日(日) 午前8時30分～同11時45分  
場所 市役所稲枝支所周辺一帯

市では、大雨や大規模地震の発生によるいろいろな被害を想定した防災訓練を行います。この訓練は、災害に強いまちづくりの一環として、防災関係機関や自治会などの協力を得て実施するものです。

当日は、避難所での訓練を体験したり、災害時のライフライン対策訓練や、消防防災機関の臨場感あふれる大規模訓練を間近で見学したりできます。家族や地域の皆さんといっしょに参加して、防災意識を高める機会としてください。

## 過去の大震災の教訓を生かして

6、400人余りの尊い命が失われた阪神・淡路大震災から8年半が経過し、あのすさまじい光景や記憶も、徐々に風化しつつあります。しかし、先日は東北地方を強い地震が襲って多くの被害があり、また東海地震や東南海地震についての情報が出されるなど、常に地震や風水害などの災害と隣り合わせなのが現状です。私たちは、過去の



一昨年、県立大で行われた訓練の様子

災害から学んだことを教訓に、災害に強いまちづくりを進めていかなければなりません。

今回の訓練は、住民の避難訓練を主として行うもので、避難施設での訓練や自治会の初期消火活動、消防機関による大規模な訓練を実施します。また、震災の教訓を踏まえたライフライン関連の企業・団体の啓発パネル展示や、災害時相互応援協定を結んでいる大垣市、長浜市からの救援物資輸送、非常食の試食体験コーナーもあります。問い合わせ先 市総務課 ☎ 1411番内線444番、FAX ☎ 1398番

## 市街化調整区域の建築制限を見直します

### 市街化調整区域の建築制限を見直します

皆さんが住宅や店舗、倉庫、共同住宅を建てる際には、道路や隣接地との状況などにより、建築物の高さや大きさに制限を受けることとなります。

本市は、市内全域が、市街化区域から市街化調整区域のどちらかに定められています。このうち市街化区域では、第1種住居地域、近隣商業地域、準工業地域など10種類の用途地域を指定し、それぞれに建築物の制限が定められています。一方、市街化調整区域には用途地域の指定がなく、全国一律の基準で制限されています。

本市にあつた基準に見直します。市では、平成12年に行われた建築基準法の改正に伴い、市街化調整区域内での建築行為について、現行の形態制限規定を同16年5月までに見直すことになっています。

新しい基準をつくるために、現在、下のような案をつくって検討中です。この案では、容積率や前面道路の幅員別容積率制限、隣地斜線勾配を変更することとしています。

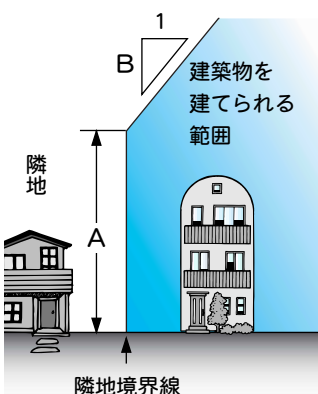
## 新しい基準になると

容積率は、敷地に対する延べ面積の割合を示すもので、現行400%を200%にすることになっています。例えば、敷地面積が100㎡のとき、現行基準では延べ面積400㎡まで建てられますが、変更案では200㎡までとなります。

また、容積率は敷地の前面道路の幅員によっても制限されています。道路の幅のメートル数に

### 建築物の形態制限の指定方針(案)

	現行基準	新基準(案)
建ぺい率	70%	70%(一部地域は60%)
容積率	・400% ・前面道路幅員(m)×0.6×100	・200% ・前面道路幅員(m)×0.4×100
道路斜線勾配	1.5	1.5
隣地斜線勾配	下図のA=31m 下図のB=2.5	下図のA=20m 下図のB=1.25



ご意見をお寄せください。この案について、市民の皆さんの意見を募集します。ご意見は、はがきかファックス、Eメールで、7月14日(月)(必着)までに、市街化調整区域までお送りください。意見送付・問い合わせ先 市街化調整区域 建築指導課 ☎ 1411番内線242番、FAX ☎ 8517番 E-mail: kenchi\_kushido@ma.city.hikone.shi.gajp

## 新しくなりました 情報公開制度

### 市総務課

市では、平成9年4月から「彦根市情報公開条例」に基づいて公文書を公開しています。今年の6月1日から、この条例を全面改正し、新しい「彦根市情報公開条例」を施行しました。

新しい条例では、国内外や個人、法人、任意団体を問わず、だれでも公文書の公開を請求できます。また、公開の対象となる「公文書」の範囲が、これまでの文書や図画、写真、マイクロフィルムに加えて、録音テープやビデオテープ、フロッピーディスクなどの電磁的記録にまで拡大されました。そのほかにも、市民の皆さんの「知る権利」を尊重し、さらに内容が充実しました。

この新しい制度によって積極的な公文書の公開に努め、民主的に公正な、透明性の高い市政を推進していきます。

なお、平成14年度中には、改正前の「彦根市情報公開条例」に基づき、自治功労者名簿や市施設の建設



## 中山間地域等直接支払制度の実施状況

### 市農政課

「中山間地域等直接支払制度」とは農地には、農産物を収穫するだけでなく、堤防の役割をして洪水を防ぐなどいろいろな働きがあります。

河川の上流にある中山間地域で耕作をやめたまま土地が増えると、洪水や土壌浸食などにより、下流域の多くの住民の生命や財産に影響が出るおそれがあります。こうした地域は、平地に比べ



て農業をするには不利な地域です。そのため、農業生産活動を維持して、農地のさまざまな機能を保全することを目的に、中山間地域で農業を営む人たちに交付金を交付しています。

山間部の農地の維持のために市では、平成12年度に「中山間地域等直接支払彦根市基本方針」を策定しました。平成13年度には善谷町の農家の皆さんが集落協定を締結し、市が認定しました。協定に参加した人々により、平成16年度まで農地が維持されることになりました。また、耕作放棄の防止に向け、さまざまな活動をされています。

農用地の保全管理 農地法面の崩壊を防ぐため、定期的に点検したり、法面にタンポポを植えたりされています。生産性、収益性の向上 山間部に合ったワラビやフキをラビやフキを作付けするなど、高付加価値



## はかりの定期検査

### 市商工課

市内の商店、事業所、医院、保険薬局などで、取引や証明などの業務に使われている「はかり(計量器)」の定期検査を次の表のとおり実施します。最寄りの会場で検査を受けてください。

実施日時	会場
7月2日(水)	10:30~12:00 稲枝支所
	13:30~15:00 JA東びわこ河瀬支店
7月3日(木)	10:30~12:00 福祉保健センター
	13:30~15:00 高宮地域文化センター
7月4日(金)	11:00~15:00 市役所

## 中小企業を応援する 国の事業資金(夏期資金)

### 国民生活金融公庫

国民生活金融公庫は、厳しい経営環境にある中小企業者を支援することを目的にした「セーフティネット貸付」などの取り扱いをしています。商品仕入れ、手形決済、ボーナス支払いなどの夏期資金としてご利用ください。

### セーフティネット貸付

融資限度額 4,800万円  
返済期間 5年以内  
利率 年1.35%(固定金利、5月16日現在)

### 経済再生貸付

融資限度額 別枠3,000万円  
返済期間 5年以内  
利率 年1.35%(固定金利、5月16日現在)

問い合わせ先 国民生活金融公庫彦根支店 ☎ 0201番 FAX ☎ 6640番

※いずれも無料です。

行事名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
ワールドの集い ～VOICE彦根からのメッセージ～	6月22日(日) 13:00～16:00	ピバシティ彦根2階 ピバシティホール	内容：インドネシアの音楽と踊り 外国人による日本語劇と各国パフォーマンス 出場者と来場者の交流タイム ひこね国際交流会VOICE ☎23-5517 (丹下方、FAX共用)
歴史講座 近代への道 —幕長戦争と彦根藩—	6月22日(日) 14:00～16:30	彦根城博物館・能舞台見所	内容：基調講演「幕長戦争と彦根藩」 名古屋大学教授 羽賀祥二さん 座談会「幕末維新期の彦根藩」 羽賀祥二さん、鈴木栄樹(えいじゅ)さん(京都薬科大学助教授)、齊藤祐司(彦根城博物館学芸員) ほか ※幕末維新の彦根藩の動向について分かりやすく説明します。 ☎教育委員会市史編さん室 ☎27-3544、FAX27-3554
子育て講演会	6月28日(土) 14:00～16:00	ひこね <small>さん</small> 燦 <small>さん</small> ばれず (小泉町)	テーマ：子育てを楽しむために一知っておきたい心の発達— 講師：天理よろづ相談所病院(臨床心理士) 久保永子さん 申込が必要です※託児希望者は、申込時にその旨お伝えください 彦根乳児保育所 ☎22-5768
第1回民俗文化財展示 「城下町の人と暮らし・ 集落の様子」	6月30日(月)～7月4日(金) (土・日曜日は除く) 8:30～17:15 (4日は16:00まで)	市役所1階ロビー	テーマ：子どもの暮らし 内容：昔の子どもの暮らしのようすを伝える、明治・大正期の 教科書や着物などを展示 ☎教育委員会文化財課 ☎26-5833、FAX26-5899
楽しいおはなしと たなばたのつどい	7月5日(土) 14:00～	市立図書館 ☎22-0649	内容：紙芝居…七夕の紙芝居 影絵…「あおくとときいろちゃん」 たなばたかざり…はさみ、のりを持って来てください 出演：ひこね児童図書研究グループ
絵本をたのしむ つどい	7月12日(土) 14:00～		内容：ブックトーク…本の紹介をしながら絵本を読みます 出演：ひこね児童図書研究グループ

## ひこね文化フェスタ2003

### 【展示部門】

日時 6月20日(金)～22日(日) 9:30～17:00  
場所 ひこね市文化プラザ メッセホール棟  
参加団体 彦根花道協会・彦根山草会・湖東盆栽会・彦根  
きりえ研究会・押花の会・彦根城博物館友の会・深雪ア  
ートフラワー・嬰和会・ひこね演劇鑑賞会・彦根水墨画  
会・一期一会の会・彦根古文書同好会・彦根美術工芸協  
会・絵画セルラックアトリエ・みずえの会・彦根洋画協  
会・彦根書友会・東海総合美術家連盟・彦根写真連盟・  
シブヤ美術研究所・彦根茶道協会

問い合わせ先 ☎教育委員会生涯学習課 ☎24-7971、FAX23-9190

彦根文化連盟に加盟する文化団体が一堂に会して活動を展示・発表します。彦根ならではの文化の香りを鑑賞ください。(すべて入場無料)

### 【舞台部門】

日時 6月22日(日) 13:00～16:30  
場所 ひこね市文化プラザ エコホール  
参加団体 彦根古城太鼓(和太鼓の会)・彦根児童合唱  
団・彦根三曲協会・都流 彦根九重会・筑前琵琶彦根  
旭城会・彦根日本舞踊グル  
ープ・詩吟朗詠錦城会彦根  
ブロック・詩舞道錦城流彦  
根支部・全日本大正琴連盟  
彦根花みづ木会



**彦根東高等学校  
暮らしに役立つ  
楽しい創作書道**  
対象 県内に在住・在勤の人  
日時 7月26日(土)～8月30日(土) (8月  
16日(土)を除く毎週土曜日・全5回)  
の午前9時30分～正午(ただし初日  
と最終日は午後0時30分まで) 内  
容 書写と書道のながい、絵手紙、  
印づくりや拓本彫り、紙づくりなど  
場所 彦根東高等学校(金亀町) 受  
講料 3,000円 教材料 2,5  
00円 定員 25人(定員になり  
しだい締め切り) 申込期間 6月  
16日(月)～7月11日(金) 申込方法  
問い合わせ先 電話彦根東高校総  
務課 ☎24800番入

**彦根西高等学校  
書道教室「書に親しむ」**  
日時 7月12日(土)～8月9日(土)  
(毎週土曜日・全5回)の午後1時  
～同4時15分 場所 彦根西高等  
学校(池州町) 受講料 3,000円  
定員 20人(定員になりしだい締  
め切り) 申込期間 6月30日(月)  
申込方法 問い合わせ先 電話彦  
根西高校 ☎24890番へ。FAX  
☎269743番でも受け付けます  
必要な道具は各自で用意してくだ  
さい。また、汚れてもいい服装  
で参加してください。

### 学校開放講座

**子どもセンター 自己探検教室  
「科学教室」**  
日時 7月27日(日)午前9時30分  
～午後4時、7月30日(水)午前9  
時30分～正午、7月31日(木)午前  
9時30分～正午 3日間通しの  
教室です 場所 子どもセンタ  
ー 内容 1日目「大昔のびわ  
湖を掘ってみよう」2日目「楽  
しい科学実験」3日目「科学工  
作」 対象 小学4～6年生  
定員 20人(先着順) 受講料  
2,500円 申込期間 6月



日時 8月9日(土)午前9時30分  
～午後4時 場所 子どもセン  
ター 内容 自分で工夫しなが  
らテープカッターのついた本立  
てを完成させて、工作の楽しさ  
喜びを味わいます 対象 小学  
4～6年生 定員 25人(先着  
順) 受講料 1,500円 申  
込期間 6月21日(土)～7月6日  
(日)(ただし、6月23日(月)、6  
月30日(月)は除く) 定員になりし  
だい締め切ります 申込方法

**ボーイスカウト指導者  
講習会**  
日時 7月13日(日)午前9時30分  
～午後4時30分 場所 彦根動  
労福祉会館2階 研修室 対  
象 18歳以上の人 内容 ボー  
イスカウト教育の原理と基本的  
な方法について講習します。修  
了者には指導者手帳と修了書を  
発行します 参加費 1,000  
0円(昼食・資料代を含む) 申  
込期限 6月30日(土)(消印有効)  
申込方法 はがきに住所、氏名  
(ふりがな)、年齢、電話番号を  
書いて日本ボーイスカウト滋賀  
県連盟事務局(〒520-0004  
大津市京町四丁目1-1)へ 問い  
合わせ先 北村方 ☎23-0256  
番 FAX ☎21-820番

**子どもセンター 工作道場  
「ノコギリを使おう」**  
(ブックエンド+)  
日時 8月9日(土)午前9時30分  
～午後4時 場所 子どもセン  
ター 内容 自分で工夫しなが  
らテープカッターのついた本立  
てを完成させて、工作の楽しさ  
喜びを味わいます 対象 小学  
4～6年生 定員 25人(先着  
順) 受講料 1,500円 申  
込期間 6月21日(土)～7月6日  
(日)(ただし、6月23日(月)、6  
月30日(月)は除く) 定員になりし  
だい締め切ります 申込方法

2003夏学期  
短期集中英語プログラム  
ミシガン州立大学連合日本センター  
9日間コース 日時 7月22日  
(火)～8月1日(金)(平日のみ)の  
午前10時～正午、午後1時15分  
～同3時15分 受講料 800  
000円(テキスト代を含む)  
4日間コース 日時 7月22日  
(火)～同25日(金の午前10時～正  
午、午後1時15分～同3時15分  
受講料 400,000円(テキスト  
ト代を含む) 5日間コース  
日時 7月28日(月)～8月1日(金)  
の午前10時～正午、午後1時15  
分～同3時15分 受講料 4  
50,000円(テキスト代を含む)  
内容 どのコースも初級・中上  
級にクラス分けをし、ネイティ  
ブの教官による指導で、初級者  
は日常会話能力の習得を、中上  
級者は総合的な表現能力の向上  
を目指します 申込期限 7月  
10日(木) 申込・問い合わせ先  
ミシガン州立大学連合日本セン  
ター(松原町) ☎263400番

**国際交流員による  
ポルトガル語講座**  
実施講座 初級Ⅰ 初級Ⅰ(基礎)  
終了レベルの人向けに初級Ⅱを10月  
ころ開講予定 対象 初めてポル  
トガル語を学習する市内に在  
住・在勤の人 日時 7月12日  
(土)～9月27日(土)(8月16日、同  
23日を除く毎週土曜日・全10  
回)の午前10時～同11時30分  
場所 国際交流センター(金亀町) 定員 20人  
(先着順) 受講料 無料(ただし、  
教材費は受講者負担) 講  
師 彦根市国際交流員 田尾ロザ  
ーネ 申込期間 6月18日(水)～7  
月4日(金)の午前8時30分～午後  
5時15分(ただし土・日曜日は  
除く) 申込・問い合わせ先 ☎  
国際交流課 ☎21411番内線  
374番

**歴史講座 幕末・明治の彦根を読み解く**  
「新修彦根市史」(第8巻史料編近代1)を読む  
『新修彦根市史』(第8巻 史料編 近代1)をテキストに、  
明治時代の彦根について分かり  
やすく説明しますので、初心者  
の人も安心して受講できます。  
日程・テーマ 下の表の通り  
時間 午後2時～同4時  
会場 市民会館第3会議室  
定員 50人(各回ごと、定員に  
なりしだい締め切ります)  
参加費 資料代(1000円程度)  
が必要。 申込・問い合わせ先 ☎教育  
委員会市史編さん室 ☎273  
544番

月日	テーマ
7月12日(土)	彦根の明治維新 -彦根城解体計画-
8月10日(日)	彦根の産業革命 -彦根製糸場の開業-
9月13日(土)	学校教育のはじまり -地域が支える小学校-
10月18日(土)	琵琶湖とのかかわり -明治29年大水害を中心に-

※いずれも秘密厳守、無料です。

相談名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
こころの健康相談 一般相談	6月25日(木) 13:30~16:30	彦根保健所 ☎22-1770	こころの健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします。(予約制)
アルコール相談	6月26日(金) 14:00~16:00		アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます。(予約制)
こころの健康相談 老人痴呆相談	7月4日(金) 13:30~16:30	市民相談室(市役所1階)	痴呆の有無や程度、医療の必要性や、老人性痴呆への対応方法の指導などをします。(予約制)
人権相談	7月2日(木) 13:00~15:00		いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課☎22-1411(内線373)
法律相談	7月4日(金) 18:30~20:30	ひこね燦ぱれす	電話による予約制(受付は、6月25日(木)午前8:30から先着3人) ひこね燦ぱれす☎26-7272
	7月7日(月) 13:00~15:00	福祉保健センター	予約制(受付は、6月23日(月)午前8:30から先着4人) 彦根市社会福祉協議会☎22-2821
行政相談	7月7日(月) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
中小企業労働相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 9:00~15:45	湖東合同庁舎(旧・彦根県事務所)	労働に関するあらゆる相談や質問に、専門の相談員が応じます 彦根中小企業労働相談所(園湖東地域振興局内)☎23-2064
総合労働相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 9:00~17:00	彦根労働基準監督署 (南彦根駅西口・彦根地方合同庁舎1階)	労働者と事業主との間の紛争をはじめ、労働に関するあらゆる相談に応じます 彦根総合労働相談コーナー(彦根労働基準監督署内)☎22-0654
ひとり親家庭よろず相談	毎日 10:00~22:00	(電話による相談)	母子家庭、父子家庭の生活や子育てについての悩みや相談に、専門の相談員が応じます のぞみ相談室☎21-1080
消費生活相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 8:30~17:15	生活環境課(市役所1階)	悪質商法の被害、クーリング・オフの方法など、身近な消費生活や契約にかかわるトラブルに関する相談 ☎生活環境課☎22-1411(内線173)

## 動く図書館 たちばな号

巡回日程【7月前半】 市立図書館 ☎22-0649

日・曜日	駐車場	時間
1日(火)	宮田町 山田神社 支店地	11:00 13:20 14:10 15:00
	農協鳥居本高根会	
	小野こま	
2日(水)	太東平団地中央部	13:20 14:10 15:00
	葛籠町公民館	13:30 14:20 15:10
3日(木)	高宮地域文化センター	13:30 14:20 15:10
	B S ア パ ー ト 2 号 棟	
4日(金)	清川瀬 崎馬場町農協観光前	13:20 14:10 15:00
	河瀬地区公民館	
8日(火)	多景保育園	13:20 14:10 15:00
	彦根ニュータウン中央部	
9日(水)	榎昭公 民館	13:30 14:20 15:10
	和アルミ茂賀ハイ	
10日(木)	鳥居本地区公民館	11:00 13:20 14:10 15:00
	小泉町百貨卸センター駐車場(東側)	
11日(金)	東沼波町秋葉神社	13:20 14:10 15:00
	旭森地区公民館	

駐車場での駐車時間は、30~40分間で。

図書館休館日 7月(月)、14日(月)  
7月前半

図書館やたちばな号の利用は無料です。

## し尿収集予定日 7月前半

彦根市事業公社 ☎23-4135

臨時の収集については、早めにお申し込みください。(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)



収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。

- 1日(火) 幸、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川) 安清、芹、野田山、正法寺、地藏、平田(大沢)、西今(松田団地)
- 2日(水) 松原一丁目、松原二丁目、安清、外、野田山、正法寺、地藏、平田(大沢)、西今(松田団地)
- 3日(木) 原(原町西団地)、西沼波(東部)、和田、外、里根、戸賀、小泉、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目
- 4日(金) 山之脇、芹川、幸、大藪、馬場一丁目、馬場二丁目、長曾根、中央(第1・4部)、銀座、芹橋一丁目(河原二丁目の一部を含む)、芹橋二丁目
- 7日(月) 幸、開出今蔵の町団地、八坂東団地、芹川、城町一丁目、城町二丁目、栄町一丁目、栄町二丁目、池州、西今(松田団地を除く)、開出今団地(第3部)、八坂北、三津
- 8日(火) 開出今蔵の町団地、八坂東団地、後三条(下)、中藪一丁目、中藪二丁目、中藪、長曾根南、西今(松田団地を除く)、宇尾、三津屋、海瀬、肥田(西肥田)
- 9日(水) 開出今団地(第1部)、後三条(下)、中央(第2・3部)、平田(大沢を除く)、西今(松田団地を除く)、宇尾、野瀬、須越、肥田(西肥田)
- 10日(木) 後三条(下)、立花、金亀、尾末、平田(大沢を除く)、野瀬、開出今、須越、金沢(金沢団地)
- 11日(金) 後三条(下)、佐和、大東、旭、船、立花、平田(大沢を除く)、野瀬、開出今、須越、出路、田原、金沢(金沢団地)
- 14日(月) 佐和、立花、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、後三条(上)、開出今、竹ヶ鼻、須越、上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩、金沢(林・中下)

## 彦根市公共下水道審議会委員

委員の仕事 年間数回開催される会議に出席し、市長の諮問に  
応じて、市の公共下水道事業に  
関する重要な事項について調  
査・審議していただきます。な  
お、会議に出席いただいたとき  
は報酬を支払います。応募資格  
市内に在住で7月10日現在で20  
歳以上の人。ただし、国や地方  
公共団体の議員や常勤の公務員  
は応募できません。募集人員  
4人(応募者多数のときは、く  
らして下水道についての考え方

## 生ごみはごみじゃない 生ごみ攻略 実践事例を募集します

生ごみは捨てれば「ごみ」ですが、有機肥料  
として土に戻すことができるなど貴重な「資源」  
でもあります。生ごみを資源として利用した事  
例を募集し、10月開催予定の市民環境フォー  
ラムで受賞した実践事例を紹介します。

募集期間 7月1日(火)~9月16日(火)(消印有効)  
応募資格 生ごみの資源化に取り組む市内の団体か  
個人  
応募方法 実践事例(例:堆肥化した生ごみを使っ  
た野菜の栽培実験、生ごみを出さないエコクッキ  
ングなど)をA4サイズの紙3~5枚程度に写真  
などを使ってわかりやすくまとめ、提出してくだ  
さい。様式は問いません。作品には、住所、氏名  
(団体のときは団体名、代表者名を併記) 電話番  
号、タイトルを書いたものを添えてください。な  
お、作品は未発表のものに限り、市民環境フォー  
ラム開催後に返却します。  
賞 (仮称)生ごみ大賞(1点)=賞状と1万円分  
の金券、入選(2点)=賞状と5千円分の金券  
応募・問い合わせ先 ☎生活環境課(〒522-8501)  
☎22-1411内線134、FAX27-0395

など総合的な観点から選考しま  
す) 委員の任期 7月10日~平  
成17年7月9日(2年間) 応  
募期限 6月30日(月) 応募方  
法 ☎下水道部(市民会館1階)  
市役所1階受付、支所・各出張  
所にある応募用紙に、応募の動  
機、くらしと下水道についての  
考えと必要事項を記入して応募  
してください。応募・問い合わ  
せ先 ☎下水道部管理課(〒52  
2-0001尾末町1-38) ☎22-54  
58番、FAX☎25-433番

日時 7月16日(水)・同17日(木)の  
午前9時~午後4時 場所 ☎  
消防本部(西今町) 受講料 5,  
000円(テキスト代を含む)  
定員 90人(先着順) 申込期  
間 6月23日(月)~同27日(金)の午  
前8時30分~午後5時15分(定  
員になりしだい締め切ります)  
申込・問い合わせ先 ☎消防本  
部予防課☎20-332番、消防  
署南分署☎43-5670番、消防  
署北分署☎23-0119番、消防  
署犬上分署☎33-330番

## 甲種防火管理者 資格取得講習会

## 滋賀県レイカディア大学 第26期学生

レイカディア大学とは? 高齢  
者が新しい知識や教養、技術を  
身につけ地域のリーダーとなる  
ための生涯学習の場として、滋  
賀県が設置しています。内容  
人間、郷土、社会参加を学ぶ必  
修講座と、陶芸、園芸、文芸、  
生活、スポーツレクリエーショ  
ンの選択講座。場所 米原校  
(坂田郡米原町下多良2-137) 滋  
賀県立文化産業交流会館内) か草津  
校(草津市笠山七丁目8-138) 滋  
賀県長寿社会福祉センター内) のど  
ちらかを選択。学習期間 2年  
間(10月/平成17年9月) 費用  
年間12,000円と教材費など  
。応募資格 県内在住の10月  
1日現在で60歳以上の人。申  
込方法 ☎介護福祉課(平田町・  
福祉保健センター内)、市役所1階  
受付、支所・各出張所、各地区  
公民館にある応募用紙に必要事  
項を記入して、7月22日(火)まで  
に☎介護福祉課に提出してく  
ださい。問い合わせ先 ☎介  
護福祉課☎23-9660番、F  
AX☎26-1768番

## 福祉用具講座受講者 福祉用具を上手に使うこと

日程、場所	内容
7月3日(木) ☎障害者福祉センター	・加齢による機能の変化と障害について ・福祉制度について ほか
7月10日(木) 県立長寿社会福祉センター(草津市)	・介護研修・福祉用具センター見学と実習
7月17日(木) ☎障害者福祉センター	・障害の理解と福祉用具の活用 ・ボランティア活動について ・工房ボランティアとの交流

で、高齢者や障害を持つ人が、  
地域で自立した生活ができた  
り、また、要介護状態になるこ  
とを予防したりできます。そう  
した福祉用具についての知識の  
普及と、簡単な福祉用具(自助  
具)を製作するボランティアの  
人材を育成する講座です。  
日程、場所、内容 左の表の  
通り。時間 各回とも午前10  
時~午後3時30分。対象者 福  
祉用具(自助具)やその製作な  
どに関心のある人で、すべての  
日程に参加できる人。ボランテ  
ィア活動に関心のある人、日曜大工や  
裁縫ができる人、パソコンの得意な人  
など歓迎します。参加費 無料  
申込期限 6月26日(木) 申  
込・問い合わせ先 彦根保健所  
☎21-0283番、FAX☎26-75  
40番



回答は7月5日までに

# 新市名称アンケート

候補の中から  
一つを選

彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会において、1市3町の住民の皆さんの中から、2万人を対象にした「新市名称アンケート」が下記のとおり実施されます。

アンケートの内容は左のとおりです。皆さんから寄せられたアンケートは、合併協議会で新市の名称を決定される重要な資料になります。アンケート用の往復はがきが郵送されてきた人は、期限までに忘れずにアンケートに回答し、合併協議会事務局へお送りください。

**アンケートの概要**  
調査対象 1市3町の16歳以上の住民  
調査人数 2万人

**抽出方法** 1市3町の住民基本台帳から無作為抽出

**調査方法** 候補となる名称の中から新市にふさわしい名称に、を付ける択一方式(2つ以上に、つけた場合は無効)で、郵送による配布、回収

**調査期間** 6月16日(月)～7月5日(土)

※詳しくは、この「広報ひこね」と同時配布の合併協議会からのチラシや、合併協議会ホームページ (<http://www.hikone-inukami.jp/>) をご覧ください。

▼アンケートに使われる往復はがき (返信用の裏面)

新市名称アンケート			
新市の名称としてふさわしいと思う名称一つに○をしてください。			
(公募については、五十音順)			
公募 既存	名 称	読み方	ふさわしい と思う名称 一つに○
公募	犬 上 市	いぬかみし	
公募	湖 城 市	こじょうし	
公募	東 近 江 市	ひがしおうみし	
公募	東びわこ市	ひがしびわこし	
公募	ひこね市	ひこねし	
公募	びわこ市	びわこし	
既存	彦 根 市	ひこねし	
既存	豊 郷 市	とよさとし	
既存	甲 良 市	こうらし	
既存	多 賀 市	たがし	

## 「障害児サマーホリデーサービス」ボランティアを募集します

「障害児サマーホリデーサービス」は、市内に住む小学校以上の障害児が、夏休みを楽しく、有意義に過ごせるよう実施するものです。この活動で、子どもたちを支援していただくボランティアを募集します。

**期間** 7月23日(水)～8月27日(水)のうちの平日20日間で、午前9時30分～午後3時15分  
1日だけの体験参加も可

**場所** 障害者福祉センター(平田町)、甲良養護学校(犬上郡甲良町)など

**内容** 参加児童の保育・介助

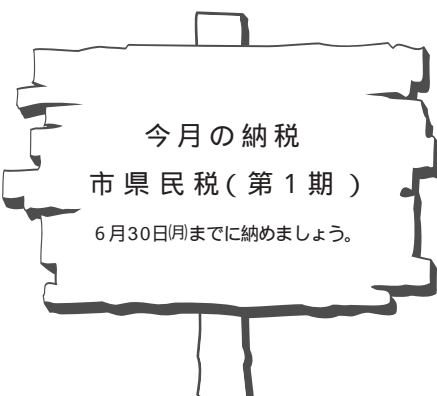
**応募条件** 障害のある児童の保育に、関心と熱意のある人

**説明会** 7月6日(日)午前10時～正午に障害者福祉センターで開催します。

**申込期間** 6月16日(月)～同27日(金)の午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日は除く)

**その他** 3日以上参加の場合は交通費などの一部に補助があります。

**申込・問い合わせ先** ☎障害福祉課(平田町・障害者福祉センター内) ☎27-9981、FAX26-1767



江面川に架かる橋に立つ若林さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、☎情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。

## 表紙のことば

若林 憲次さん(八坂町)

江面川は、甘呂町の田園地帯から八坂町の南部を通ってびわ湖に注ぐ川です。魚を釣る人や犬と散歩をする人が、四季を通してみられます。河口に近い表紙写真の辺りはかなり川幅が広くなります。風がなくて波の立たない日には、川沿いの民家の白壁が川面に映って、ちよつと風情のあるたたずまいを見せます。市内でも、こういう風景は珍しいのではないのでしょうか。

河口付近は、古く八坂港のあったところですが、彦根史談会によって建てられた近くの石柱には、「八坂港はその昔八十ノ港の名あり、若狭を始め湖北地方よりの産物の湖上交通の一大要所港であった」とあります。にぎわいを見せたであろう当時には、どんな光景が江面川に映っていたのでしょうか。